

教科(科目)	芸術Ⅰ(音楽Ⅰ)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	教育出版『音楽Ⅰ Tutti+』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。</p> <p>○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協動的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。</p> <p>○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。</p> <p>○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。</p> <p>○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協動的に学びあえる授業を行う。</p> <p>○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。</p> <p>○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。</p>

2 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質能力を育成する。
--

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 ・自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 ・主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きを感受している。知覚したことと感受したことの関わりについて考え、表現意図をもっている。	表現及び鑑賞の学習活動に主体的・協動的に取り組もうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記テストの分析 ・実技テストの分析 などから評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論述課題の分析 ・演奏発表の取り組みの観察 などから評価します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の発言や態度の観察 ・自己評価シートの内容の確認 ・ノートの記述内容の確認 などから評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観 点	評価方法
4	オリエンテーション 校歌の理解と歌唱	1 歌唱	ふるさと 校歌 他	・日本語の歌を歌う。 ・校歌を歌い、ノートに書いて歌詞を覚える。 ・歌詞の意味を考えて歌う	a b c	記述課題
	イメージをもつ て歌う	3 歌唱	夏の思い 出 他	・曲想と歌詞の関連について考える。 ・Review of Basics①②を学習し、「あなたにとって音楽とは」を200字程度で記述する。	a b c a b c	ノート提出 実技テスト
5	日本歌曲を歌う	4 歌唱	浜辺の歌 他	・日本語の抑揚や間、語感、歌詞と し が、旋律の流れやフレーズにどのよ うに表されているかを考える。 ・自分のイメージで、表現を工夫する。 ・日本語の言葉の特性に関心をもつ。	a b c	プリント課題
					a b c	実技テスト
6	楽典①	6 創作	楽譜の約 束	・中学までの知識の復習を行い、高校 の授業に必要な内容を身につける。	a b c	筆記テスト
6	リコーダー・アン サンプル	8 器楽	いつも何 度でも 他	・リコーダー奏法の基礎を確認、身に つける。 ・課題曲の練習により、演奏技術を身 につける。個別指導(レッスン)。	a b c	実技テスト
					a b c	ノート提出
7	リズムの基礎練習 と合奏	6 器楽	リズムの 基礎 野菜の気 持ち	・基礎的なリズムの理解と表現を身 につける。 ・課題曲の練習と個別レッスン ・グループごとに合奏曲の練習とレ ッスン。	a b c	実技テスト
8	外国語の歌を歌う	4 歌唱 鑑賞	イタリア 語、ドイ ツ語の歌 曲、プリ ント	・サンタルチアの発音 ・野ばらの発音 ・野ばらについて、詩と音楽の考察 ・歌曲の歴史をたどる ・歌唱の個別レッスン	a b c	記述課題
					a b c	実技テスト
9	ギター弾き語り	8 器楽 歌唱	翼をくだ さい	・ギターの基礎的な奏法を身につけ る。練習と個別レッスン。 ・弾き語りのための練習。 練習と個別レッスン。	a b c	記述課題
					a b c	実技テスト
10	楽典②	4 創作	コードネ ーム	・コードネームの内容の理解	a b c	実技テスト
11	リズムによるアン サンプル	8 器楽 歌唱	合奏曲	・リズム表現に関する事項を身に付 け、歌唱や器楽で表す。 練習とグループごとにレッスン。	a b c	記述課題
					a b c	実技テスト

12	音楽史と鑑賞	2 鑑賞	ロマン派 までの音 楽 未定	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな時代の楽曲を鑑賞し、音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・総合芸術における物語と音楽の関わりを理解する。 	a b c	記述課題、ノート提出
1	合奏 リコーダー・ギター・キーボードによる	6 器楽 歌唱 創作	1年間で 学習した 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・合奏表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解する。 ・技能に関する事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表す。 ・グループごとにレッスン。 	a b c a b c	記述課題 筆記テスト 実技テスト
2	楽典③調性と移調	2 創作	調性 移調	<ul style="list-style-type: none"> ・調性の「知識」に関する諸事項について理解する。 ・指定の調へ確実に移調する。 	a b c	筆記テスト
3	まとめ	2				

計64時間 (55分授業)

7 課題・提出物等

- ・いくつかの単元をまとめて、筆記テストを行う。
- ・筆記テストの後で、ノートを提出する。
- ・歌唱と器楽については、単元ごとに実技テストを行う。

8 担当者からの一言

音楽Ⅰの授業では、歌唱・器楽を中心にしながら毎時間複数の領域を扱います。音楽のすばらしさを味わいながら、基礎的な理論を理解し、さまざまな音楽表現を行いましょ。また、音楽の発展に貢献してきた先人たちの努力・工夫に対して常に敬意を払い、現在音楽を楽しむことができている幸せを実感し、今後の音楽のあり方についても一緒に考えてみましょう。わかりやすい授業を心がけるので、授業中は私語を慎み、集中して取り組んでください。
(担当：荒木)